

Japan Patent Office
Utility Model Laying-Open Gazette

Utility Model Laying-Open No. 5-45961
Date of Laying-Open: June 18, 1993
International Class(es): H01R 13/73
13/46

Title of the Invention: Device for Fixing L-shape Connector

Utility Model Appln. No. 3-101882
Filing Date: November 15, 1991
Inventor(s): Kozo Iida
Hirotaka Ikeda

Applicant(s): Takaoka Electric Manufacturing Co., Ltd.

(57) [Abstract of the Disclosure]

[Problems to be Solved by the Invention] An object of the invention is to easily fix an L-shape connector that is to be attached to electrical equipment.

[Means for Solving the Problems] One end 5a of a fixing plate 5 is allowed to abut against a head 3a of an L-shape connector 3, and cable 6 connected to the L-shape connector 3 is held by a clamp 7 provided at the other end 5b of the fixing plate 5.

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-45961

(43)公開日 平成5年(1993)6月18日

(51)Int.Cl.⁵

H 0 1 R 13/73

13/46

識別記号

C 4229-5E

3 0 1 H 7331-5E

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 2 頁)

(21)出願番号 実願平3-101882

(22)出願日 平成3年(1991)11月15日

(71)出願人 000002842

株式会社高岳製作所

東京都千代田区大手町2丁目2番1号

(72)考案者 飯田 孝三

栃木県小山市大字中久喜1440番地 株式会
社高岳製作所小山事業所内

(72)考案者 池田 裕孝

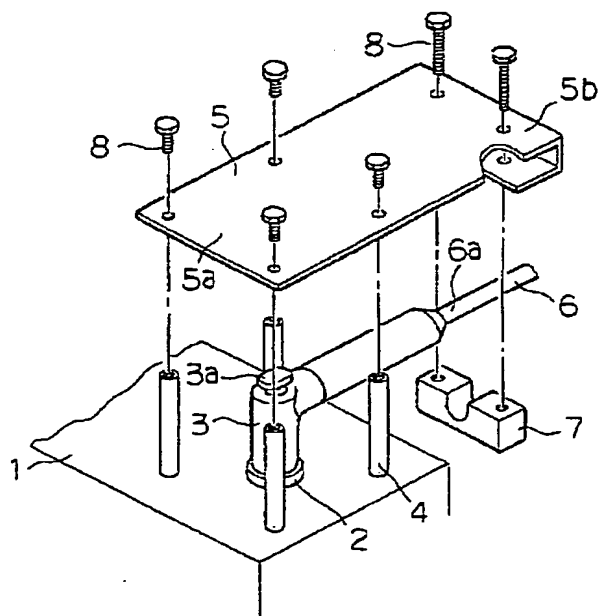
栃木県小山市大字中久喜1440番地 株式会
社高岳製作所小山事業所内

(54)【考案の名称】 L形コネクタの固定装置

(57)【要約】

【目的】 電気機器に装着するL形コネクタを容易に固定できるようにする。

【構成】 固定板5の一端5aをL形コネクタ3の頭部3aに当接させるとともに、固定板5の他端5bに設けたクランプ7でL形コネクタ3に接続したケーブル6を把持する。



1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 電気機器のケース1に設けた端子2と、端子2に接続するL形コネクタ3と、ケース1に係止する固定板5とから成るL形コネクタの固定装置において、固定板5の一端5aをL形コネクタ3の頭部3aに当接させるとともに、前記固定板5の他端5bに設けたクランプ7で、前記L形コネクタ3に接続したケーブル6を把持することを特徴としたL形コネクタの固定装置。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の全体構成投影図である。

【図2】 本考案の全体構成側面図である。

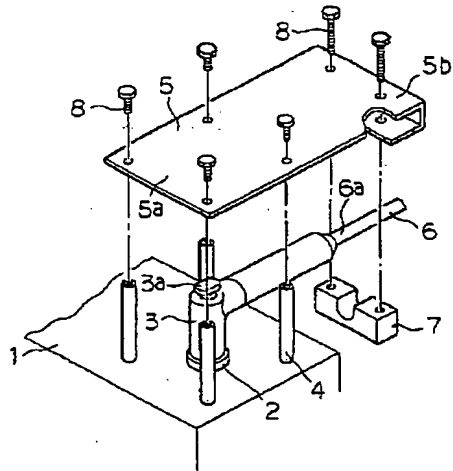
【図3】 従来例の全体構成投影図である。

【図4】 従来例の全体構成側面図である。

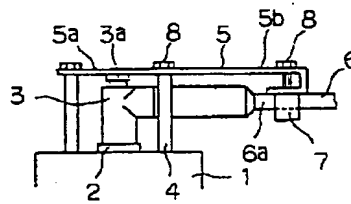
【符号の説明】

- 1 ケース
- 2 端子
- 3 L形コネクタ
- 3a L形コネクタ頭部
- 4 支持部材
- 5 固定板
- 10 6 ケーブル
- 7 クランプ
- 8 ボルト

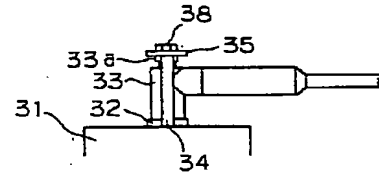
【図1】



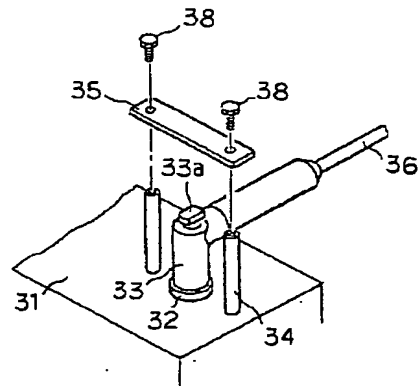
【図2】



【図4】



【図3】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

本考案は、L形コネクタの固定装置に関する。

【0002】**【従来の技術】**

従来の技術によるL形コネクタの固定装置を図3、図4に示す。

ケース31に設けた端子32と接続したL形コネクタ33の頭部33aに固定板35を当接させ、ケース31に設けたスタッド34とボルト38で固定板35に係止し、L形コネクタ33をケース31に固定する構造であった。

【0003】**【考案が解決しようとする課題】**

従来の技術でも、ケース31からのL形コネクタ33の開離を防ぐことは可能である。しかし故障電流による電磁力や外力による曲げが作用したときのために、L形コネクタ33に接続されたケーブル36をL形コネクタ33の至近距離の部分で把持する必要があるが、別途にブラケット等を設けなければならないが、ケース31の形状、寸法および構造上、前記ブラケットをケース31に設けることが困難な場合が多く、このため別個に該ブラケットを固定する支持部材を必要とする欠点があった。そこで本考案は、L形コネクタの固定を容易に行うことができる構造を提供するものである。

【0004】**【課題を解決するための手段】**

本考案は固定板の一端をL形コネクタの頭部に当接させると共に、前記固定板の他端に設けたクランプで、前記L形コネクタに接続したケーブルを把持するものである。

【0005】**【作用】**

以上によれば、L形コネクタの開離を阻止すると共に故障電流による電磁力や外力による曲げ荷重が作用しても前記L形コネクタを堅固に固定し得る。

【0006】

【実施例】

本考案の一実施例を図1、図2に基づき説明する。機器のケース1に装着した端子2に対し、軸線方向に向けて、L形コネクタ3を接続する。このL形コネクタ3の頭部3aに固定板5の一端5aを当接し、ケース1に設けた支持部材4に固定板5の一端5aをボルト8で固定する。さらに固定板5は他端5bが、L形コネクタ3に接続したケーブル6の接続位置6aまで延長してあり、他端5bと他端5bにボルト8で取付けたU字型の溝を有するクランプ7でケーブル6の接続位置6aをはさみ込む。

本考案は以上の構成であり、頭部3aに当接して取り付けた固定板5により、端子2に接続したL形コネクタ3が軸線方向に向けて開離することを阻止すると共に、固定板5に取り付けたクランプ7でケーブル6を把持することによりL形コネクタ3を堅固に固定するものである。

【0007】

【考案の効果】

本考案を実施することにより次のような効果がある。

- (1) 端子を設けたケースの形状、寸法および構造にかかわらずL形コネクタを堅固に固定することが可能となった。
- (2) L形コネクタの固定を一体の支持具で行うため、支持具の部品点数が減少し、取り付けが簡潔かつ容易になる。